

今月のことば

2013年 11月

「あなたのみことばは、私の足のともしび、私の道の光です。」



聖書

詩篇 119章 105節

道を失う心細さをご存知ですか？

仕事の都合で、どうしても日帰りではなければならなかったのに、未明に清里を発ち、八ヶ岳の主峰赤岳の最後の胸突き八丁を何とか登り切ったどり着いた山頂でしたが、ゆっくり休む間もなく野辺山目指して下山を開始しなければなりません。ところが、いつしか道を失い、弱まり行く日差しに焦りを覚えながら道を捜すものの、手がかりも、頼る人もなく、心細さと不安が、まるで辺りに迫る夕闇のように、私の心に広がり始めました。その時、どこからか足音が響いて来て、次第に近づいて来るのです。それを頼りにがけを這い上がると、そこに道があり、足早に山を下りて来る健脚者に出くわしたのです。私は懸命にその人について行きました。辺りは徐々に暗くなりましたが、幸い、道を見分けることができ、健脚者を見失うこともありませんでした。ようやくふもとにたどり着き（そこは清里でしたが）、遠く民家のあかりを見た時は、「助かった！」という、何とも言えない安ど感が心に満ちました。

生きる道を見失って心細さと不安の中にある人が、道を照らす「ともしび」や「光」を得るなら、それはどんなにうれしく、また、どんなにホッとすることでしょうか。詩篇119篇はとても長い詩篇です。その全篇が神のことばのすばらしさを、ことばの限りほめたたえています。この詩篇の作者にとって、神のことばは「私の足のともしび」「私の道の光」と言うべきものでした。神のことばである聖書は、きっとあなたの歩むべき道をも示し、照らしてくれることでしょう。ぜひ聖書を手に取って読んでみてください。

みらい平キリスト教会はあなたのおいでを

心からお待ちしています。